

株式譲渡契約締結に関するお知らせについて ～インドネシア・タンゲーLNGプロジェクト権益の追加取得～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)の石油開発部門である新日本石油開発株式会社(社長:大森 輝夫)は、三菱商事株式会社、国際石油開発帝石ホールディングス株式会社および三井物産株式会社の関係会社とともに、今般、兼松株式会社が保有するケージーベラウ石油開発株式会社の株式40.7%の一部を取得することになりましたので、お知らせいたします。

記

1.株式取得の理由

ケージーベラウ石油開発(株)は、インドネシア共和国において事業を行っているタンゲーLNGプロジェクトの上流権益(生産分与契約)を構成するベラウ鉱区の権益を12%保有し、タンゲープロジェクト全体においては8.6%の権益を保有しております。当社は、新日本石油開発(株)が51%、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構が49%を出資する日石ベラウ石油開発株式会社を通じて、タンゲーLNGプロジェクトにおいて既に12.23%の権益を保有しておりますが、今回の株式譲渡を通じて、同プロジェクトに保有する権益を1.22%増加させ13.45%とすることで、一層の事業拡大を図ることとしております。

2.株式取得の内容

新日本石油開発(株)は、ケージーベラウ石油開発(株)の株式9,994株(約14.2%)を取得いたします。

3.日程

2007年10月1日 株式譲渡契約締結

2007年10月22日 株式譲渡予定日

以上

● 別添資料

 [株式譲渡の概要\(108.6KB\)](#)